



有機合成薬品工業株式会社
YUKI GOSEI KOGYO CO., LTD.



CORPORATE PROFILE

本社
〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町 3-10-4
TEL: 03-3664-3980 FAX: 03-3664-3998
www.yuki-gosei.co.jp/





人の役に立ち、
人によろこばれるものを創る

私たちは、1947年の創業以来、
有機化学の分野で研究・開発に取り組んできました。
人の役に立ち、人によろこばれるものを創る。
ただその思いを胸に、食品、医薬品、工業製品分野などで
高品質な「ものづくり」を追求してきました。
自社開発製品はもちろん、カスタムプロダクションや受託製造などにも力を入れ、
お客様のニーズに合わせた製品を安定的に供給しています。
当社が生み出したグリシンをはじめとする汎用性の高い製品から、
ユニークで付加価値の高い製品まで、ユーキが豊かなミライへつなぎます。

INDEX

| | |
|----------------|----|
| ユーキでつなぐミライ | 2 |
| ユーキの3分野 | 4 |
| つなげくらし(食品分野) | |
| つなげいのち(医薬品分野) | |
| つなげみらい(工業製品分野) | |
| ユーキのものづくり | 8 |
| 品質保証・管理 | |
| 受託製造(化成品・医薬品) | 10 |
| ユーキのグローバル展開 | 12 |
| ユーキについて | 14 |

化学技術を用いた 「ものづくり」を通して 人々の暮らしを支えたい

ユーキは、食品分野、医薬品分野、
工業製品分野の3分野で製品をつくり、供給し続けています。
身近な食品や、生活のいろいろなシーンで
皆さまの毎日、ミライを支えています。

つなげ
くらし

つなげ
いのち

つなげ
みらい

食品分野

つなげ
くらし

栄養とうまみの分野でくらしをつなぐ

安全な日持ち向上剤や調味料として食品に用いられているグリシン。
1952年に当社が日本で初めて製造販売を開始したグリシンなどのアミノ酸の製造技術は、
当社を代表する技術です。現在、私たちはグリシンを国内外の市場へ安定的に提供しています。

日本初グリシンを商業化

食品産業の成長と発展 とともに歩んでいます

当社のグリシンは、1952年に合成酒の
呈味成分として、日本で初めて製造販売
を開始。以来、グリシンは長年にわたり安
全な日持ち向上剤やうまみ調味料として
幅広い食品に使われています。

世界最大級のグリシン製造設備

品質の向上と安全性の 確保に取り組みます

当社は世界最大級のグリシン製造設備を
所有しています。品質の向上と安全性の
確保に努めながら、医薬品の製造にも匹
敵する品質管理体制のもとで製造し、国
内外の市場に安定供給を行っています。

新たなマーケットへの展開

ライフスタイルの変化を 捉え挑戦し続けます

昨今、健康への意識の高まりから、サブ
メントや機能性食品などの発展と充実には
めざましいものがあります。当社でも、
変化するライフスタイルにあわせた新た
な製品開発に挑戦しています。



主な商品 / グリシン、グリシン配合剤、ニコチン酸アミド
主な用途 / 日持ち向上剤(おにぎり、惣菜、菓子パン、かまぼこ等)、調味料(漬物、カップラーメン等)

つなげ
いのち

厳しい国際品質をクリアし、いのちをつなぐ

日本国内の薬事法はもちろん、米国FDAや英国MHRAなどの世界基準をクリア。
新薬、ジェネリック医薬品の原薬・中間体の製造受託を行っています。
また、自社ブランドによる医薬品原薬も販売し、お客様のニーズに応え、柔軟に対応しています。

世界各国の品質基準をクリア

各国の基準に適合した
安全な製品を製造します

当社の製品は、GMPをはじめ最新の規制に基づき製造しています。その品質は日本国内の薬事法はもちろん、米国FDAや英国MHRAなどの監査もクリア。高い品質、安全をお約束します。

医薬品の受託製造

お客様のニーズに
高い技術でお応えします

新薬・ジェネリック医薬品の原薬・中間体の製造受託事業では、研究部門による製造プロセス確立、新鋭設備での製造、グローバル基準の品質保証体制でお客様の多様なニーズにお応えしていきます。

自社開発製品のグローバル展開

自社開発製品を通じ
人びとの健康に貢献したい

自社開発原薬である抗ヘパリン薬の硫酸プロタミン、結核治療薬のイソニアジド、抗ウイルス点眼薬のトリフルオロチミジンなどの製造・販売を行い多くの人びとの健康に貢献しています。



主な商品／医薬品原薬（グリシン、イソニアジド、硫酸プロタミンなど）、医薬中間体、化粧品原料
主な用途／輸液製剤（点滴）、抗ウイルス点眼薬、抗ヘパリン薬、抗結核薬、去痰薬

つなげ
みらい

最先端の技術をサポートし、みらいをつなぐ

めまぐるしく進化する工業製品分野では、半導体やシリコンウェハーなどの工業用機能性材料の原料を製造することで、さまざまな産業を下支えしています。
また、人びとの健康や生態系に配慮した農業を製造するための、高品質な原料も提供しています。

特色ある製品の開発・製造

さまざまな分野で
暮らしを支えています

当社の製造する有機ケイ素化合物は、半導体製造や船底塗料用原料として、また、ピリジン誘導体はタイヤコード接着剤の主原料として、アミノ酸誘導体は工業用キレート剤として使われています。

情報化社会の発展に寄与

当社の技術は電子材料の
分野にも対応します

半導体や電子デバイスの製造においては厳密な管理が求められています。食品、医薬品を開発・製造してきた当社では製品開発と生産を一元化し、メーカーの厳しい基準に応える製造を実現しています。

環境・生態系を守る

健康・生態系、美しい環境
みらいを守る努力を続けます

健康や生態系に配慮した農業の原料・中間体を製造。また、すべての製造において環境面に関する対策を強化しています。環境配慮型化学品の供給を通じ、お客様のCSRの活動もサポートしています。



主な商品／有機ケイ素化合物、ピリジン誘導体、アミノ酸誘導体
主な用途／電子材料、塗料用原料、合成樹脂用原料、タイヤ用原料、工業用キレート剤、農業原料

3つのミライを支える ユーキのものづくり

私たちは、大学の研究室でタバコの香料を合成することから始まりました。創業メンバーの「化学技術でみんなの役に立ちたい」という思いは、ユーキのすべての社員に受け継がれています。その化学技術を用いた「ものづくり」の魂を胸に、営業、基本技術研究、量産技術研究、生産、品質保証・管理それぞれが専門知識・経験を糧に協働し、ユーキの3つのミライ、食品分野、医薬品分野、工業製品分野等の事業に貢献しています。



ユーキのものづくり
品質保証・管理 (常磐工場・本社)

世界基準品質のものづくりを徹底サポートする

製品の品質保証・品質管理はメーカーの最も重要な責務です。
独立した品質保証部を設置し、世界に通用する品質を保つシステムを構築しています。

高品質の探求と安全の確保

医薬品については、国内はもとより米国FDA、欧州の品質に適合しています。また、1998年から品質マネジメントシステムISO 9001を導入しており、2021年には、食品安全マネジメントシステムに関する国際的な規格であるFSSC 22000の認証を取得するなど、品質保証・品質管理体制を充実、強化しています。



ものづくりの現場から

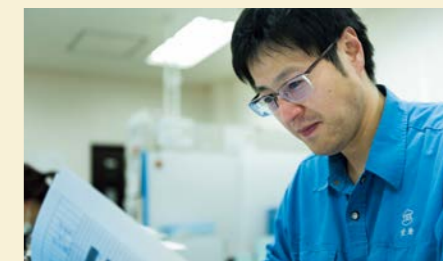
分析のプロフェッショナルとして製品の品質を保証します

製品の出荷前検査を担当しています。当社は製品の種類・数が多く、その分、試験検査における豊富なデータがあります。厳しい目を持って製品の品質を最終確認。さまざまな試験検査によって製品の品質を証明し保証しています。



世界基準の製品を品質保証部が支えています

社内の品質 (GMP及びISO) に関わる全ての業務を行っています。当社は、最新の情報を取り入れると同時に、長年、受託製造に取り組んできた豊富な経験を生かし、世界各国の厳しい基準をクリアした安心していただける製品を提供しています。



環境への取り組み

「自然と共生し、地球にやさしい企業」を目指し、環境保全に取り組んでいます。1997年7月から環境マネジメントシステムISO 14001を導入しています。

水質汚濁防止

活性汚泥処理設備で工場廃水を浄化し、公共水域へ放流しています。

大気汚染防止

小型貫流ボイラーを導入し、省エネルギーや大気汚染の防止に努めています。

廃棄物の削減・リサイクル

自社廃液焼却設備と外部委託で廃棄物の処理・リサイクルをしています。



専門の知識・設備で
お客様のニーズに応える

受託製造



汎用工業製品から高付加価値の医薬品まで、さまざまな製品の受託製造を行っています。特に医薬品では、GMP対応の品質保証体制のもとで、信頼性の高い製品をご提供しています。

受託製造の メリット

- 有事の際におけるBCP対応（生産分散化）
- 多額の資金拠出を要する設備投資を回避
- 製造過程における各種管理費用の節減
- お客様の自社人材を有効活用、効率化

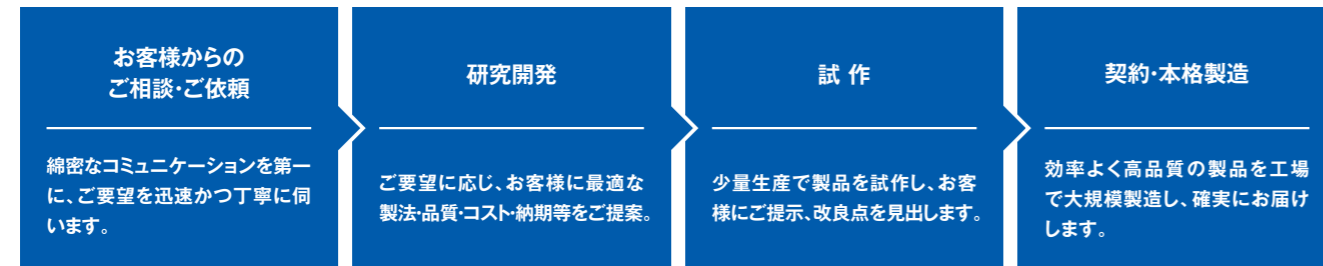
化成品 受託製造

さまざまな製品の製造受託にお応えするための体制を整えています。
ユーキならではの品質保証体制のもとで、信頼性の高い製品をご提供しています。

ユーキの強み

まず少量で試作品を製造したのち、その試作品をお客様に評価していただき、改良点を探ります。その後、商品化に向けた量産化を検討、立案。効率の良い製造方法で大規模製造の準備をし、ご納得いただいたのちに契約。高品質を保った量産に移ります。

受託製造の流れ



■主な製造技術

グリニャール反応・エステル化・アルキル化・アルコキシ化・アシル化・アミノ化・アミド化・ジアゾ化・各種縮合反応・各種還元反応ほか
※ISO9000に適合する品質管理のもと、製造法検討、商業規模の製造を行っています。

設備内容

【主な設備内容(GMP対応)】

| 種類 | 材質 | サイズ | 個数 | 備考 |
|----------|------|--------|----------------------|-----------------------|
| 反応槽 | GL | 8,000L | 1 | 水素圧：≦1.0 MPa |
| | GL | 6,000L | 3 | |
| | GL | 5,000L | 3 | 水素圧：≦0.6 MPa |
| | GL | 3,000L | 3 | |
| | GL | 2,000L | 4 | ~6,000L |
| | GL | 1,500L | 1 | |
| | GL | 1,000L | 4 | ~6,000L |
| | GL | 600L | 1 | |
| | GL | 500L | 2 | 蒸留受器、溶解槽、沈降槽、調整槽等 |
| | GL | 300L | 2 | |
| | GL | 200L | 1 | 遠心分離機 |
| | SUS | 6,000L | 1 | |
| | SUS | 5,000L | 1 | 上排型、底排型、全自動型、アフロン、SUS |
| | SUS | 3,000L | 1 | |
| | SUS | 1,000L | 4 | 乾燥機 |
| SUS | 600L | 1 | | |
| SUS | 300L | 1 | 真空トルネード型、コニカル型、振動流動型 | |
| SUS | 150L | 1 | | |
| クリーンルーム | | | 4 | クラス100,000 |
| 医薬用水製造設備 | | | 1 | USP対応 |



医薬品 受託製造

医薬品の開発・製造は国内外ともに、さまざまな制約があります。
当社はこれまでの経験を活かし、お客様を幅広くサポートしつつ、GMP対応の品質保証体制のもとで、信頼性の高い製品をご提供しています。

ユーキの強み

GMP基準で開発・製造・ 商業製品化

当社は長きにわたり、医薬中間体、新薬、ジェネリック薬品の開発などを行ってきました。お客様のパートナーとして、長年の経験を活かした受託製造はもちろん、すでに商品化された製品の改良についても対応します。

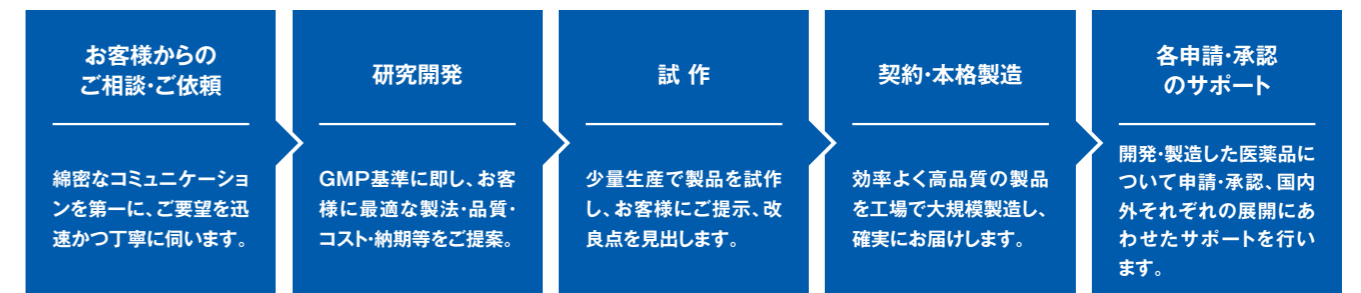
30カ国以上への輸出 グローバル展開

医薬品の開発・製造は国内外ともに、厳しい基準があります。当社では、長年の経験により培われた各国事情の知識、マーケティングノウハウを駆使して、世界30カ国以上に原薬を供給しています。

豊富な海外申請経験

日・米・欧の三極対応済みであっても、追加情報、データ取得が必要となる場合があります。お客様の製品展開プランに応じて、各国での必要情報を確認し、確実に申請、承認を受けています。

受託製造の流れ



開発・製造のプロセス

| | 医薬中間体等 | 治験原薬等 | 担当部署 | |
|---------|----------------------|----------------------|-------|--------|
| 開発初期 | 合成ルートの探索 | — | 研究所 | 品質保証部門 |
| 開発中期 | プロセスの改良・最適化 | 製法開示、ラボ検証 | 生産技術部 | |
| スケールアップ | 試作 c-GMPに基づく技術の確立 | 試作 c-GMPに基づく技術の確立 | 製造部門 | |
| 商業生産 | バリデーション | バリデーション | | |

■主な製造技術

グリニャール反応・エステル化・アルキル化・アルコキシ化・アシル化・アミノ化・アミド化・ジアゾ化・各種縮合反応・各種還元反応ほか
※GMPならびにISO9000に適合する品質管理のもと、製造法検討、医薬品製造承認の取得、DMFの作成、登録を実施し、商業規模の製造を行っています。

【粉碎設備】 粒径10ミクロン以下の超微粉碎が可能な医薬用カウンタージェットミル設備も導入しています。

（生産対応機）

| 名称 | 型式 | 仕様（公称） | | 備考 |
|--------|--|--------|---------|-------------------|
| | | 粒度分布 | 能力/h | |
| ジェットミル | ホソカワミクロン カウンタージェットミル 200AFG-pharma | 2~20μm | 20~30kg | 媒体：窒素 400Nm3/h |
| ジェットミル | ホソカワミクロン スパイラルジェットミル 200AS | 1~5μm | 10~30kg | 媒体：窒素 400Nm3/h |

（小型機）

| 名称 | 型式 | 仕様（公称） | | 備考 |
|--------|-----------------------------------|----------|--------|-------------------------------|
| | | 粒度分布 | 能力/h | |
| ハンマーミル | ホソカワミクロン ファインインパクトミル 100UPZ | 20~700μm | 2~30kg | プレートピータ ハンマーピータ ピンミル3種類 |

（粉碎クリーンルームの仕様）

| | |
|-----|---------|
| クラス | 100,000 |
| 温度 | 23±5℃ |
| 湿度 | 45±15% |

ユーキのアミノ酸、医薬品原料、工業製品を世界へ



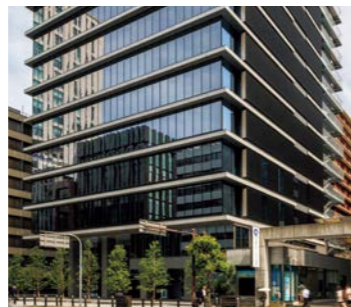
東京、大阪およびデュッセルドルフ事務所(ドイツ)を営業拠点とする販売ネットワークを通じ、国内外にさまざまな化学製品を届けています。世界中へ安全、安心な製品を届けるため、出荷においては適切な梱包容器を用い品質保持に万全を期した保管方法と輸送手段によってお届けしています。



事業所一覧



本社
〒103-0013
東京都中央区日本橋人形町3-10-4
TEL : 03-3664-3980
FAX : 03-3664-3998



第二営業部
〒541-0053
大阪市中央区本町3-1-10
H'O本町212
TEL : 06-6229-8731
FAX : 06-6229-8732



東京研究所
〒174-0043
東京都板橋区坂下3-37-1
TEL : 03-3967-7211
FAX : 03-3967-7576



常磐工場
〒972-8316
福島県いわき市常磐西郷町落合788
TEL : 0246-42-4221
FAX : 0246-44-2573



デュッセルドルフ事務所
Oststraße 152, 40210
Düsseldorf, Germany
TEL : +49-211-5665674
FAX : +49-211-5665675

ユーキの沿革

- 1947年 (昭和22年) ● たばこ香料の生産を目的として有機合成工業株式会社創立
- 1952年 ● 「グリシン」「イソニアジド」「ニコチン酸アミド」生産開始
- 1958年 ● 「β-アラニン」生産開始
- 1960年 ● 「2-ビニルピリジン」生産開始
- 1962年 ● 現社名、有機合成薬品工業株式会社に改称
本社を中央区宝町に移転
東京証券取引所第二部市場へ上場
- 1963年 ● 「トリアセチン」生産開始
- 1964年 ● 常磐工場稼働開始
「ピース用香料」生産開始
- 1965年 ● 「硫酸プロタミン」「mf用香料」生産開始
- 1971年 ● 「グリシン」の新設備による生産開始
- 1975年 ● 「農業中間原料」「ピコリン酸」生産開始
- 1978年 ● 「DNA」生産開始
常磐工場活性汚泥式処理設備完成
- 1984年 ● 常磐工場に多目的製造設備新設
- 1985年 ● 「シリコン関連製品」生産開始
- 1990年 ● 常磐工場に医薬品中間体精製設備新設
資本金を25億5千万円に増資
- 1991年 ● 本社を千代田区平河町に移転
常磐工場にケイ素・グリニャール試薬製造設備新設
- 1995年 ● 本社を現地に移転
常磐工場に実験棟(技術開発センター)新設
常磐工場にDNA製造設備新設
- 1996年 ● 2-ビニルピリジン製造設備を東京研究所から常磐工場に移設
常磐工場でISO 9002認証取得
常磐工場にケイ素・グリニャール関連製品専用製造設備新設
資本金を34億7千1百万円に増資
「トリフルオロロチミジン」生産開始
- 1998年 ● 本社・大阪営業所・常磐工場・東京研究所で
ISO 9001認証取得
常磐工場に治験薬試験研究設備新設
- 1999年 ● ISO 14001認証取得
- 2001年 ● フドステイン「ユーキ」生産開始
子会社「ユーキエンジニアリング(株)」が
「ユーキテクノサービス(株)」に改称
常磐工場に医薬品製造設備新設
- 2003年 ● 常磐工場に品質管理棟新設
- 2004年 ● 東京証券取引所市場第一部銘柄指定
統合基幹業務システム稼働開始
- 2006年 ● 海外拠点として、デュッセルドルフ事務所を設立
- 2007年 ● 液化天然ガス燃料転換設備新設
- 2012年 ● 「ジェネリック医薬品用原薬」生産開始
- 2014年 ● コージェネレーションシステム導入
- 2018年 ● 医薬品原薬・中間体製造設備新設
- 2021年 ● FSSC 22000認証取得
- 2022年 ● 東京証券取引所 スタンダード市場に区分変更
- 2025年 ● グリシン増産設備新設

